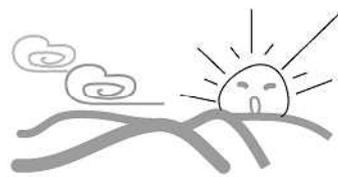


「世代を超えて安心して暮らせるむらづくり」プロジェクト がはじまりました!

道志村未来通信 1



2009年10月1日発行

「世代を超えて安心して暮らせるむらづくり」について

語り合い、そして、実現していくこと、

一緒に考えませんか？

温かい人に囲まれて、美しい風景と爽やかな自然と共にある道志村の暮らし…
でも、今感じている「仕方ない」という思いや将来の不安もいろいろある…
年をとること、子育てのこと、後継ぎのこと、仕事のこと、進学のこと、将来の夢…
家族だけでなく、村のいろいろな人と語り合い、未来への希望をつないでいきませんか？

そんな話し合いの第一歩として、「世代を超えて安心して暮らせるむらづくり」プロジェクトを
文字どおり世代を超えて議論するために、幾つかのグループと話し合いをしています。

今の暮らし、あなたはどんなことを感じていますか？

一人一人の思いを、村のみんなで共有しませんか？



第1回の話し合いでは、 次のような意見や思いが たくさん出されました！

今回は、自分の現在の暮らしや
将来についてどんな不安があるか、
また、自分の身近で起きている問題を
テーマに話し合いました。

●高齢になって心配なこと

- ・特養などが村内にない
- ・家族介護には、充実したデイサービスが必要
- ・自分のことが自分でできなくなった時どうしよう
- ・今の若い人に自分たちの介護はムリなのでは

●医療・福祉について

- ・村営だと競争がないので質の問題が…
- ・病院がないので、子どもの救急など不安

●道志の暮らし

- ・知っている人がたくさんいて
声を掛け合える安心感がある。
- ・自分は仕事があったので帰ってきたが、
友だちが周りにいない状況

●自然との関わり

- ・昔は子どもも山での仕事があった。
- ・地元の自然に地域の子どもの触れる機会
がなかなかなくなっている。

●災害時の心配

- ・孤立する部落がある。
- ・別荘に住んでいるひとと、
地域防災の関わりがない。

今回参加された方は
60歳代男性3人、80歳代男性1名、
60歳代女性1人、
20,30代の役場職員6人程
でした！

●交通手段がない時は大変！

- ・土日のバスの運行がない。緊急時不安
- ・車がなければ生活できない。
運転できなくなったら…

●仕事について

- ・村内に仕事がない。
だから若い人も帰ってこられない。
- ・民宿などのオフシーズンの時の
仕事をどうするか

●別荘に住んでいる人との関係

- ・交流があるところ、無いところがある。
- ・別荘に住んでいるひとにも
自治会に入ってもらいたいなあ
- ・冠婚葬祭などの古くからの慣習は大変。
その他のことで活躍してもらえたらいい。

今後、村のみなさん一人一人が参加して、
道志の未来について共に考え・共に解決していこう！
という話になりました。
今後の集まりに是非ご参加下さい！

発行責任者：山口博康

編集後記：この事業は平成21年度当初予算に計上
された「高齢者福祉事業調査費」により村民・役場
・委託事業者の協働作業で行われております。

<お問い合わせ>

道志村役場住民健康課
52-2118まで